

世界初の船舶省エネ技術、空気潤滑法システムの恒久的運用

地球温暖化への取組が強く求められる中、日本郵船グループは海上輸送全般における二酸化炭素削減に積極的に取り組んできた。船はもっとも環境にやさしい輸送モードであるが、経済のグローバル化が進み今後も海上荷動きが増加することを鑑み、排出される二酸化炭素の増大が懸念されている。日本郵船グループは船が今後も世界経済の発展に寄与できる環境に優しい存在であり続けるために、積極的に省エネ技術の導入を進めている。

省エネ技術の一つとして、空気を船底に送り込み泡の力で船舶と海水の摩擦抵抗を低減させ二酸化炭素削減をはかる空気潤滑システムを日本郵船グループ3隻の運航船舶に搭載し、世界初の恒久的運用に成功した。当該システムにより海象や船舶のコンディションに応じて平均4%から8%程度の二酸化炭素排出削減を実現した。

今後も日本郵船グループをあげて地球温暖化の抑制にむけて積極的に取り組んでいくこととする。

